

生成AIを活用した患者還元型・臨床指向型の

オンライン開催

循環システム(AI創薬プラットフォーム事業)に関する中間発表会

医療の未来を変える画期的なシステムが稼働開始

～災害等有事の際も医療継続が可能に～

10月24日(木) 11:00 - 12:00

11:00 - 11:10 ご挨拶

11:10 - 11:20 バックアップシステムの開発状況の紹介

11:20 - 11:30 導入による効果等の紹介

11:30 - 12:00 質疑応答

本年3月に開始した「AI創薬プラットフォーム事業」で開発を進めているリアルタイムでの臨床情報収集を目的としたバックアップシステムが稼働開始となります。

本システムは、

- i) 医療機関における毎日の診療情報を、国際標準規格(FHIR)に準拠しつつ、その後のデータ解析等にも活用可能な形でリアルタイムに自動でバックアップし、
- ii) 各病院がそれぞれ導入している様々なメーカーの電子カルテに対応できる汎用性が高い技術です。

これにより医学研究・創薬の活性化に繋げるとともに、災害やサイバー攻撃等の有事の事態においても、セキュリティの担保された環境から臨床情報にアクセスし診療継続を可能とすることで、医療分野における防災対策の中核をなすことが期待されます。

説明会では、リアルタイムの意義や導入効果等の展望を含め、開発進捗をご報告します。



医薬基盤・健康・栄養研究所
理事長
中村 祐輔



大阪国際がんセンター
医療情報部 主任部長
西村 潤一



TXP Medical 株式会社
代表取締役
園生 智弘

ご参加申込:10月23日(水)12:00までにe-mailで医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部 (pr@nibiohn.go.jp)宛に、お名前、ご所属、ご連絡先をお知らせください